

## 愛学リーガル・クリニック 無料法律相談について

愛学リーガル・クリニックでは、愛知学院大学の学生の皆さんの法律相談をお受けするため、無料の法律相談所として、『愛学リーガル・クリニック法律相談所』を開設しています。この愛学リーガル・クリニック法律相談所は、愛知学院大学日進キャンパス 13 号館 7 階および名城公園キャンパス・アガルスタワー3 階で、本学法科支援センターの実務家弁護士教員を中心に法律各分野の専任教員ならびに本学出身の弁護士が相談をお受けいたしています。

日進キャンパスは隔週水曜日の 12 時から 15 時、名城公園キャンパスは隔週木曜日の 15 時から 17 時 30 分の時間帯で無料法律相談を実施いたしております。(相談日・担当者の詳細については、愛知学院大学法務支援センターHP の無料法律相談(URL は下記参照)でご確認下さい。)

申し込み手続き等は次のとおりです。

### ■ 受付相談内容

法律に関連する諸事項全般に対応いたします。ただし、既に訴訟中の事項や紛争解決の依頼は受けかねます。

### ■ 相談申込

申込みは、予約制とします。相談希望日の前の週の金曜日までに、法務支援センター事務室へ電話またはインターネットにて申し込みください。電話で申し込みの際は、窓口で「愛学リーガル・クリニックの法律相談希望」とお申し込みください。

Tel : 0561-73-1111(内線 5106・5105)

URL : <http://legal-supports.agu.ac.jp/free-legal-consultation/index.html>

### ■ 相談場所

日進キャンパス : ロースクール棟 13 号館 7 階(図書館情報センター7階)

『愛学リーガル・クリニック法律相談所』

名城公園キャンパス : アガルスタワー3 階多目的室 1

### ■ 料金

無料

### ■ 相談日時の決定

相談日時は、先着順を原則といたしますので、希望の日時で相談を受けられない場合や予約件数の関係からお断りすることがあります。予めご了解ください。

受付後、相談担当者等の調整を行い、相談日時及び相談担当者を電話で連絡させていただきます。

### ■ 相談事項に関する資料

相談内容をより正確に把握するため、必要に応じ参考となる資料(契約書、登記簿謄本等)があればご持参下さい。

# ～愛学リーガルクリニック～

## 無料法律相談

法律に関する悩みを抱えていませんか。



交通事故や、バイト料の不払等、学生のみなさんが直面する問題のなかには、法律問題もあります。

本学には、「愛学リーガルクリニック」があります。

そこでは、法務研究科に所属する実務家教員(弁護士)と研究者教員が、みなさんの法的な悩みの解決に向けて相談にのっています。

相談日 2015年10月7日より

毎週水曜 午後12時～3時

場所 図書館情報センター7階(日進)

愛学リーガルクリニック法律相談所

あらかじめ相談日時を法務研究科事務室へ予約していただきます。

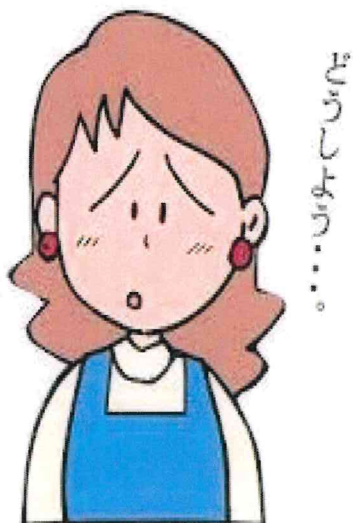
電話：0561-73-1111 (内5105・5106)

Email：aguls@dpc.agu.ac.jp

左の像はフランクフルト・アム・マインの  
レーマー広場のユスティティア像

あなたの その悩み

法律で解決できませんか？



交通事故や、バイト料の不払等、学生のみなさんが直面する問題のなかには、法律問題もあります。

本学には、「愛学リーガルクリニック」があります。

そこでは、法務研究科の実務家教員(弁護士)と研究者教員が、みなさんの法的な悩みの解決に向けて相談にのっています。

相談日 2015年10月7日より

毎週水曜 午後12時～3時

愛学リーガルクリニック法律相談所

(図書館情報センター7階〔日進〕)

あらかじめ相談日時を法務研究科事務室へ予約していただきます。



電話：0561-73-1111 (内 5105・5106)

Email：aguls@dpc.agu.ac.jp



> 愛学リーガルクリニック無料法律相談 <



## 愛学リーガル・クリニックの利用にあたって

愛学リーガル・クリニックではみなさまの学生生活をはじめとする生活の中での色々な法律にかかわるアドバイスにより解決することを第一の目的としています。

原則として個人情報保護法の遵守および守秘義務により相談の秘密は守られますが、法律で定められている事項、相談者のみなさんの心身が危険な状態や教育上必要と認めるときは、相談者のみなさんの安全をお守りするために、相談者の意思を確認しつつ関係者の協力を得ることがあります。

愛学リーガル・クリニック無料法律相談実施状況

No	相談日	相談対応者	相談者	相談内容	紹介弁護士	備考
1	2017.04.	○ 浅 賀 ○ 生 田(㊟)	男性	ネットオークションのト ラブルの相談 アルバイト業務の相談	無	
2	2017.05.	○ 國 田	女性	土地の境界の相談	無	
3	2017.05.	○ 浅 賀 高 橋	女性	相続・遺言関係の相談 不動産賃貸借関係の相談	無	継続
4	2017.07.	○ 浅 賀	男性	刑事事件と訴訟の相談	無	継続
5	2017.07.	○ 浅 賀 服 部	男性	No.4 の継続	無	
6	2017.07.	○ 浅 賀 服 部	女性	No.3 の継続	無	
7	2017.09.	○ 浅 賀	男性	交通事故賠償の相談	有	
8	2017.10.	○ 國 田	女性	遺産相続分割の相談	無	
9	2017.10.	○ 浅 賀	女性	バイトの給料の所得税の 相談	無	
10	2017.10.	○ 浅 賀	男性	交通事故容疑及び賠償の 相談	無	
11	2017.10.	○ 國 田 ○ 浅 賀	女性	生活環境トラブルに關す る相談 遺言に關する相談	無	
12	2017.10.	○ 岩 井 ○ 浅 賀	男性	税務に關する相談	無	
13	2017.10.	○ 岩 井 ○ 浅 賀	女性	遺言に關する相談	無	
14	2017.11.	○ 菊 田(㊟) 服 部	男性	株価に關する相談	無	
15	2017.11.	○ 國 田	男性	貸付金の返金の相談	無	
16	2017.11.	○ 岩 井	男性	労働契約の相談	無	
17	2017.11.	○ 岩 井	男性	個人情報に關する相談	無	



愛学リーガル・クリニック無料法律相談実施状況

No	相談日	相談対応者	相談者	相談内容	紹介弁護士	備考
18	2017.12.	○ 白 村(㏑) 高 橋	男性	契約履行の相談	無	
19	2017.12.	○ 浅 賀	男性	貸付金の返金の相談	無	
20	2018.01.10	○ 浅 賀	男性	工事契約の相談	無	
21	2018.01.10	○ 浅 賀	男性	相続に関する相談	無	
22	2018.01.10	○ 國 田	女性	遺産分割の相談	無	
23	2018.01.10	○ 浅 賀	女性	賃貸借契約に関する相談	無	
24	2018.01.24	○ 堀 田(㏑) 田 中	女性	労働契約等に関する相談	無	
25	2018.01.31	○ 國 田	女性	夫婦関係に関する問題	無	

## 愛学リーガル・クリニック法律相談状況

### 1 相談者について

学生の相談が約77パーセント、その他の方からの相談が約23パーセントであった。学生、職員とその関係者において、法的支援が幅広く必要なことが判明した。

とりわけ、学生においては、近時問題視されている就業問題についての相談が以下のとおり相応の割合においてあり、継続的かつ手厚い法的支援の必要性が改めて認識された。

### 2 民事分野の相談について

取引関係をめぐる相談が20パーセントほどあった。金銭の貸借をめぐる紛争も複数あった。

また、高齢化社会を反映してか、相続、遺言をめぐるトラブルの相談に関する相談が7パーセントほどあった。学生以外の相談者によるものがほとんどであった。この傾向は他の相談会とも重なるものである。相続問題は、広く法的解決を意識する契機といえる。

紛争性のある相談のほか、遺言書、相続対策など予防法務としての相談も複数あった。

### 3 消費者問題について

消費者としての立場の相談が9パーセントほどを占めた。

インターネットによる取引、メールの架空請求など、パソコン、スマートフォンを介しての被害者事例が目立った。初期段階で相談がなされることにより、実害を防げたケースが多かった。

### 4 労務関係の相談について

いわゆるブラックバイトについての問題が16パーセントほどあった。

法務支援センターで実施した講演会、アンケート調査を介して、学生の間においても問題意識が根付いているといえる。

アルバイト先の賃金計算、時間給計算、源泉問題、配置・シフト等に対する不満等広範囲に及ぶものであり、なお、潜在的な問題が多数あるものと推測される。

### 5 交通事故について

被害者、加害者の事例をあわせて16パーセントであった。

通勤、通学等で車、バイクを利用する関係上、交通事故は不可避的な要素を占めている。死亡事故は減少傾向にあるが、愛知県は残念ながら最多県であり、予断を許さない。

今後も、この分野の相談は継続的に一定数あるものと考えられる。事故後の対応によって被害回復等に差が生じることも大いにあることから、積極的に利用されることが望まれる。例えば、弁護士が示談交渉に介入する場合はそうでない場合と比較してかなりのケースで増加することが多い。とりわけ、自動車賠償保険に付加されている弁護士賠償費用特約に加入しているケースが多く、弁護士費用の負担もないということが多い。

### 6 その他について

プライバシー権、人格権に関する相談も一定数あった。

友人関係をめぐるトラブルについても、相談がなされている。

#### 7 まとめ

インターネット、ブラックバイトなど、近時学生が法的トラブルに巻き込まれる可能性は多く、不幸中の幸いで、早めの相談が功を奏する結果となっている。

今後もリーガルクリニックの法律相談事業に関する広報を充実させ、広く学生、職員に対する法的支援ができる環境整備に励みたい。

また、法律相談の範囲を日進市民、地元金融機関の利用者に拡大しているのであり、来年度以降は、さらなる利用者の増加が予想され、体制整備に努めたい。

以上